

北海道大学 宮崎忠昭教授が (株式会社LABバイオテック取締役)

乳酸菌生産物質の今後を語る・・・



以前にもご紹介しました日本における**乳酸菌研究の第一人者 北海道大学 宮崎教授**。医師であり、北海道大学遺伝子病制御研究所 教授でもあります。一般社団法人 乳酸菌医科学研究所設立から1年、飲料メーカーや一般企業との提携を含め幅広い研究を進めてきました・・・あらためて**乳酸菌生産物質の今後への期待**を語っていただきました。

「現代社会を生きるカギ 日々の免疫ケア」

厚生労働省の報告によると令和4年度の国民医療費は初めて46兆円を突破し、国民総生産に対する比率は過去最大の8.4%となりました。この医療費負担は他国に先だって超高齢化社会に直面しているわが国の世相を強く反映しています。長期化する人生をより明るく健やかに過ごすために、体が元気なうちから日々免疫ケアをして、体調維持に努めることが極めて重要です。**プラサーダは厳選した乳酸菌や酵母菌から作られた乳酸菌生産物質**です。いわゆる善玉菌を活性化し腸内環境を整えることで、ガンや肝硬変、糖尿病などの予防効果が期待出来ます。肌荒れなどの回復効果も報告されているので、肌の創傷回復や口内炎の改善効果も期待されます。

『**乳酸菌が持つ優れた免疫賦活効果**』---私は2001年に北海道大学へ赴任して以来、20年以上乳酸菌の機能性研究に携わってきました。最新の研究では、ある乳酸菌の摂取が肺炎ウイルスの感染予防対策となり得ることをマウスを用いた試験の結果から明らかにしました。もう一点、研究成果をご紹介します。新型コロナの重症化はサイトカイン産生の異常が原因と言われています。免疫バランスの崩れた人が新型コロナに罹患すると、炎症性サイトカインと過剰に産生され、正常な組織まで壊されてしまうのです。インフルエンザウイルスを用いた実験では、こういった**過剰なサイトカインによる組織へのダメージが乳酸菌の摂取によって抑制される**ことが明らかとなりました。乳酸菌研究に従事する傍ら、私自身も乳酸菌を摂取するようにしていますが、北海道に来て以来まだ一度も風邪をひいたことが有りません。これも乳酸菌の持つ優れた免疫賦活効果を示唆する一例でしょう。

超高齢化社やポストコロナ時代といった現代社会では未病段階から免疫システムのケアをしていくことが極めて重要です。プラサーダは乳酸菌と酵母の発酵による天然成分のみで作られているので安心して続けられると思います。

北海道大学分子免疫分野特任教授、人獣共通感染症リサーチセンター教授を経て現在、北海道大学遺伝子病制御研究所教授。令和2年3月に株式会社LABバイオテック取締役に就任、乳酸菌の研究の他にもウイルス感染症や免疫疾患における特許出願、感染症の予防効果やインフルエンザ予防効果解明などと幅広く、日本の乳酸菌機能性研究の第一人者であります。

変わらない健康への探求、
これからも宮崎教授の
ご活躍を応援しましょう!